

Ⅲ. 神戸港・・・・・・・・一般社団法人 神戸港振興協会

『シンポジウム「海に開く～阪神・淡路大震災 20 年を省みて～災害時の船舶利用とクルーズ母港への期待」』

- ◆ 開催日 平成 27 年 8 月～平成 28 年 2 月 24 日
シンポジウム 平成 27 年 9 月 15 日
- ◆ 場 所 神戸海洋博物館
- ◆ 目 的 災害時の船舶利用促進の現状を知り、震災後 20 年を経過した現在、港をどのように活用できるか探る。
- ◆ 実施内容
シンポジウム及び見学 平成 9 月 15 日実施
場所：神戸海洋博物館大ホール及び神戸港
第一部 講演 参加者 143 人
 - ①災害時の船舶の利用について
神戸大学名誉教授 井上 欣三
 - ②これからのクルージングを考える
大阪大学大学院教授 赤井 伸郎第 2 部 神戸港海上からの見学 参加者 96 人
(シーバス ファンタジー号利用)
神戸港を海上から見学し、1 時間半に渡り現在の施設状況、周辺の土地利用、震災時の状況などを説明した。
商店街における免税店調査 平成 28 年 2 月実施
神戸の代表的な商店街である、センター街、本町商店街の免税店を調べた。
- ◆ 感 想
 1. 講演のうち、「災害時の船舶の利用については、参加者にとって目新しい事柄であり、興味を引かれたようであった。特に、『災害時医療支援船構想』、『災害時医療支援船構想』に期待が持たれたように思えた。
 2. 講演のうち「これからのクルージングを考える」では、クルーズの快適さなどからの海外クルーズへの期待が伺われた。
 3. 神戸周辺は、阪神淡路大震災に大きな被害を受けたところがあり、又、日本有数の旅客港神戸を持つことから、クルージングへの関心は高いと思われた。
 4. 免税店調査では、今のところ対象商品が限られていると見受けられた。



神戸大学名誉教授 井上 欣三氏



大阪大学大学院教授 赤井 伸郎氏



赤井講師の講演



海上見学（ファンタジー号）



海上見学（船内）



船内の様子